

## 令和4年度第1回静岡県都市公園懇話会 記録(主な意見、質問)

内容	第1回静岡県都市公園懇話会
日時	令和5年3月27日(月) 午後3時～4時30分
場所	県庁別館特別第2会議室
出席者	都市公園懇話会委員(別紙委員名簿参照)、都市局長、公園緑地課長、事務局

### <概要>

- ・令和4年度県営都市公園外部評価について、外部評価委員会から評価結果が示された。
- ・遠州灘海浜公園(篠原地区)について、事務局から概要を報告し、質疑応答等を行った。
- ・経営基本構想の見直しと経営基本計画の策定について、事務局から概要を報告し、質疑応答等を行った。

### 1 議題 令和4年度県営都市公園外部評価結果について

#### <外部評価委員長からの報告概要>

黒田委員：全体として、利用者数・催し物の開催数は目標を上回っている。ただし目標設定の段階で従来に比べ引き下げた状態でスタートしている点に留意したい。実績値ではコロナ禍前には届いていないが、回復の兆しが見られた。

コロナ禍にあつて公園利用は低迷したが、自然教室や健康教室・スポーツ活動など地道なものについては、底堅い需要があることが分かった。

各公園に共通の課題としては、①交通アクセス・駐車場問題、②施設の老朽化、③燃料費や人件費等のコストアップが挙げられる。

また近年は、安全安心に加え、快適性(トイレ・飲食サービス)・楽しさ(場を活かすような工夫)が求められるようになってきている。

今回の報告書では経営・営業・財務といった単語が散見されるようになり、単なる管理運営だけでなく、経営マネジメントとして戦略的に活用していくことがより一層求められているような変化を読み取れる。

その中で、ボランティア・企業・公的機関等とのより一層の連携が求められていると感じた。

#### <質疑等(→は事務局からの回答)>

井口委員：燃料費・人件費等の高騰についてはどういった対応を予定しているか。

→光熱費高騰については、指定管理者の相談を受けており、国の対応方針が示され、県の財政当局と調整し、補填する方向で動いている。人件費については見込が立っていないが、県としてできることを対応していきたいと考えている。

井口委員：バリアフリーやユニバーサルデザイン、さらにその先として、インクルーシブな公園運営について県の対応状況はいかがか。

→バリアフリー等については対応しているほか、トイレの非接触やキャッシュレスなど、県として、利便性の向上に努めている。

インクルーシブな取組みという点については、これから国の動向や最先端の事例を見ながら取り組んでいきたい。

渡邊委員：老朽化対応について取組みと計画について教えていただきたい。

→中期維持保全計画を策定した。また駐車場については新しく作ることは難しいが、草薙は静鉄との連携等により駐車場問題に対応している。

電気設備・機械設備など表にでていない設備の更新に取り組んでいる。中期維持保全計画により、今後は建物系の修繕にも対応していく。今年度は浜名湖ガーデンパークの屋外ステージの膜屋根更新工事等を実施した。

杉原委員：外部評価をするにあたり、各公園、難しい部分を抱えていると感じることがある。最初の目標を具体的に、また数値化できるものは数値化することが重要と考える。

中川原委員：外部評価を行うにあたり、適切な目標設定がされていないと、指定管理者も大変と思う。

指定管理制度もできて時間が経過しているので、外部評価のあり方も含めて考える時が来ているのではないかと。

目標設定が重要であるという杉原委員の意見に共感した。

指定管理制度が、形骸化せず、利用者へのサービス向上に向け有効に機能するよう、委託側と受託側で議論をしていかなければならないと感じている。

→県で策定している経営基本構想と経営基本計画が来年度更新の時期になるので、委員の皆様にも御協力いただきながら策定したいと考えている。

中西委員：公園の評価は難しいと考えている。草薙の芝生広場では、何もない広だけの広場が使いやすい人もいれば、植物花壇があれば心がなごむという人もいる。色々な評価の仕方を考えていかなければならない。そうしたことが色々な人のニーズに応えていくのに役立つと感じた。

## 2 その他 遠州灘海浜公園（篠原地区）に係る報告事項

### <事務局からの報告事項概要>

・資料に沿って説明した。

### <質疑等（→は事務局からの回答）>

牛場委員：球場のタイプがいくつかあり、AやX型となった場合、コンサート等でも使うのか。その場合エコパとの棲み分けは考えているか。

→AやBなど屋外型の野球場ではコンサートを想定していない。全国のプロモーターにも聞いているが需要があまりない。XやYなど屋根付きのものは野外フェスを行える規模ではあると思っている。来年度もう少し踏み込んだ内容を音楽団体等に聞き取りをして反映させていく。

エコパはアリーナが1万人未満、スタジアム5万人以上の規模である。新野球場が2万人程度であるため、その隙間になると考えている。

久留戸委員：トビオや多目的広場は既に使用されているのか。駐車場合め夜間は使用されているのか。

→トビオとすぐ西側駐車場は開設済み。それ以外は未開設。

トビオは夜間も使用されているが、アカウミガメ等に配慮して海側の照明は点けていない。

久留戸委員：海側の駐車場を夜間使用しても大丈夫なのか。

→今後実施計画を作る中で考えていくが、夜間は駐車場を使用禁止にしたり、足下照明や照明の高さを変えるなどしてアカウミガメ対策ができると聞いている。そうしたトータル的な対策がある。

久留戸委員：ドーム型でも、ナイターがあれば、帰りの人達の灯りで明るくなってしまう。ドームならアカウミガメの影響がないとするのはいかがか。

→球場のLEDライトといった強烈な光の漏れが問題となっている。車のライトなどの通常のライトは、防潮堤の標高があるため、光はほとんど遮られる。光源の高さや量を落としたい。そういった配慮はできるだけやっていく。

中西委員：球場ができてイベントができるようになると、渋滞が問題になると思うが、そういったところの対策があれば教えていただきたい。

→駐車場1,500台と緑地広場の活用も考えている。駐車場は草薙に比べると充分ある。そのほか、JR高塚駅の利用や、駅からのシャトルバスなどの導線も考えていきたいと思う。

黒田委員：官民連携可能性調査にあたり、県において、こういったプロジェクトの企画運営のノウハウの蓄積に取り組んでいただきたい。官民連携や指定管理に対して十分な指導ができ、専門的な相談にも対応できる人材や体制がこれからは県においても必要になってくる。

→人材育成含めて検討していきたい。

#### <事務局からの報告事項概要>

- ・資料に沿って説明した。質疑等は特段なし。

## 令和4年度 静岡県都市公園懇話会の出席委員

開催日 令和5年3月27日

(敬称略、五十音順)

分野	役職	外部評価委員	担当公園	氏名	現職又は役職	出席
公園機能分野	会長 (互選で決定)			井口 義也	一般社団法人日本公園施設業協会 専務理事	○
経営戦略・事業評価分野		外部評価委員	小笠山総合運動公園	牛場 智	静岡大学 人文社会科学部 准教授	○
公園機能分野				久留戸 涼子	常葉大学 教育学部 教授	○
公園機能分野	副会長 (互選で決定)	外部評価委員長	遠州灘海浜公園	黒田 宏治	静岡文化芸術大学 名誉教授	○
イベント・利活用分野		外部評価委員	愛鷹広域公園	清水 裕子	大阪公立大学 特別研究員	○
経営戦略・事業評価分野				杉原 賢一	杉原賢一税理士事務所 公認会計士	○
地域振興分野		外部評価委員	富士山こどもの国	中川原 史恵	公益財団法人品川文化振興事業団 理事長	○
地域振興分野		外部評価委員	草薙総合運動場	中西 健一郎	静岡産業大学 スポーツ科学部 教授	○ (リモート)
イベント・利活用分野		外部評価委員	浜名湖G P	細野 百子	株式会社博報堂 マーケットデザイントランスフォーメーション戦略局	○
地域振興分野		外部評価委員	吉田公園	眞野 匡雄	静岡県中小企業団体中央会 理事兼事務局長	○
イベント・利活用分野				渡邊 佳洋	静岡県レクリエーション協会 相談役	○